

会 議 録

会 議 名	令和6年度第1回真庭市子ども・子育て会議
日 時	令和6年5月30日(木) 19:00~20:30
場 所	真庭市役所 本庁舎 3階会議室
出 席 者	<p><出席委員> 13名 道満委員、小畑委員、柿本委員、鈴木委員、清水委員、庄司委員、谷口委員、苦田委員、難波委員、坂本委員、樋口委員、大塚委員、二若委員</p> <p><欠席委員> 2名 杉本委員、小谷委員</p> <p><事務局> 7名 健康福祉部子育て支援課 吉原課長 健康福祉部子育て支援課 広岡こどもはぐくみ担当課長 健康福祉部子育て支援課 神庭こども家庭センター長 健康福祉部子育て支援課 渡辺課長補佐 健康福祉部子育て支援課 二宗係長 健康福祉部子育て支援課 曲主幹 健康福祉部子育て支援課 水島上級主事</p> <p><オブザーバー> 1名 教育委員会学校教育課 田中課長</p> <p><委託業者> 3名 株式会社パブリック・マネジメント・コンサルティング(PMC) 新井洋一郎、山口正直、伊藤夏樹</p>
傍 聴 者 数	<傍聴者> 3名

次 第	1 開 会
	2 挨拶
	3 委員自己紹介
	4 子ども・子育て会議について
	5 議 題
	(1) 久世地域の認定こども園の施設整備について
	(2) 久世第二こども園（仮称）建設基本計画（案）について
	(3) こども計画の策定と意識・実態調査について
6 報告・意見交換	
(1) 「こどもはぐくみ応援プロジェクト 2024」について	
(2) 令和6年度こども園・保育園・幼稚園利用状況について	
(3) 放課後児童クラブの状況について	
(4) こども家庭センターについて	
(5) 母子手帳アプリ導入事業について	
7 その他	
8 閉 会	

1 開 会

（事務局 広岡課長）

失礼します。それでは定刻になりましたので、これから始めさせていただきます。真庭市子ども・子育て会議条例第五条に基づきまして、委員の皆様 15 名中、2 名が欠席ということで過半数達しておりますので、令和6年度第1回真庭市子ども・子育て会議を開催いたします。それでは、初めに健康福祉部長の樋口よりご挨拶申し上げます。

2 挨拶

（樋口委員・健康福祉部長）

部長の樋口です。よろしくお願いいたします。お仕事でお疲れのところ集まりいただきまして、ありがとうございます。今年度最初の子ども・子育て会議ということで、新しく役職の中で変わられたメンバーもいらっしゃいます。真庭市では、昨年度からこどもはぐくみ応援プロジェクトということで、子どもを応援するこどもまんなか社会を作り、子育てを応援できる社会を作っていこうということで進めてきています。今年度も、73 事業を掲げ、それを着実に進めていこうということで行っております。今日は新しいこども園のことや、今年度策定を予定しているこども計画についてのアンケート等に

ついても活発なご意見をいただいて、今後の真庭市の子ども・子育てについての、ご意見をまとめていきたいというふうに思っています。一回で終わることではなく、今後もずっと続いていくことです。いろんなテーマの中でご意見いただければと思っておりますので、忌憚ないご意見をいただければというふうに思っております。今日はよろしくお願ひします。

(事務局 広岡課長)

それでは会長からご挨拶を賜りたいと思います。よろしくお願ひします。

(小畑会長)

昨年度の途中からなんですけれども、会長をさせていただいております岡山県立大学の小畑でございます。この会議は地域の方のいろんな立場の方がお集まりになって、今後の真庭市の子育てに関して、意見を話し合うという、貴重な場になっております。いろんな活発な意見を言うというのが目的になってます。ぜひご協力のほどよろしくお願ひいたします。

(事務局 広岡課長)

それではP2をご覧ください。会長から順に自己紹介の方をしていただければと思ひます。会長の次に道満さんという席順に自己紹介をお願ひできればと思ひます。

3 ～ 各自己紹介 ～

(事務局 広岡課長)

それでは「こども・子育て会議」について、事務局より説明させていただきます。

4 子ども・子育て会議について

～ (事務局 二宗係長) 資料説明 【資料2、3】 ～

(事務局 広岡課長)

委員の皆様からご意見をお聞きしまして、それらを参考に施策の方に生かしていきたいと考えておりますので、どうぞ活発にご発言の方よろしくお願ひいたします。令和6年度は予定では4回程度の開催を考えております。それでは、これ以降の進行につきましては、規定に基づきまして、会長の方にお願ひいたします。よろしくお願ひします。

5 議 題

(1) 久世地域の認定こども園の施設整備について

(小畑会長)

では議題の一番目ですね。久世地域の認定こども園の施設設備について資料4ということで、よろしくお願いします。

～(事務局 吉原課長) 資料説明【資料4】～

(小畑会長)

ありがとうございました。この件に関しましては、事前にも資料をお送りしていたということで目を通していただけたかと思うんですけども、この件に関して何かご意見等ございますでしょうか。

(大塚委員)

意見というか質問です。まず新設こども園の場所が国道沿いのメガネの三城の裏になると思うんですけども、隣接施設がどういうものが来るのか。あとその図面の中、航空写真の中の配置ですね。駐車場、園庭、園舎、あと給食調理場についてわかる範囲で教えていただきたいです。

(小畑会長)

ありがとうございました。いかがでしょうか。

(事務局 吉原課長)

久世校地の利活用基本方針の方で一応ゾーン分けはしてありまして、今回のこども園の北側の部分は農業関係のゾーンの予定になっているようです。右側の、今畑の部分なんですけど、こちらは若者の定住とかそういったゾーンを想定しているようです。それから今回のこども園の配置ですが、こちらの方はまだこれから設計するのでまだはっきりしたことは、何も決まってないという状況になります。以上です。

(小畑会長)

ありがとうございました。これからまだまだというところですね。また、わかり次第、また教えていただければと思うんですけども、他にいかがでしょうか。

(苦田委員)

P8ですね。1号から3号認定の意味と、それから3歳以上で保育の必要がないこどもと保育の必要があるこどものこの違いは何でしょうか。草加部幼稚園に関して閉園ということも今お聞きしたんですけども、条件みたいなものはございますか。人数的なものとか。前回の資料には2名が来られて、その前は7名がおられたってことでしたけれども、その7名の方がどこかほかのこども園や保育園に行かれてるかどうかということも知りたいです。親御さんが送り迎えされるんで、ということをお前回申し上げたと思い

ますけれども、こちら辺のところはどうなのかなと思います。

(小畑会長)

ありがとうございます。2つ質問がありました。1つ目の1号2号3号認定の意味については、資料のP8の上に一部説明がありますがいかがでしょうか。

(事務局 吉原課長)

そうですね。1号認定というのは幼稚園とかこども園の幼稚園部に所属するこどもさんということで、3歳以上で保育の必要がないこどもとなっています。養育をされる方がおられる方という形になります。おうちにどなたかこどもを見ることができる方がおられるというお子様です。2号認定については、保育園とか保育園部に所属する方で、3歳以上で保育の必要があるということで、おうちに昼間見られることができる方がいない家庭ということになります。3号は3歳未満で同じく見ることができる方がいないという家庭ということ、共働きとかで見れないという状況の方になります。

また、草加部幼稚園は、今年度休園になっております。最終的に園を希望される方がいなかったということで、休園しております。こちらについては、2年続けて休園が続いた場合は、廃園を検討するというふうになりますので、今年募集をかけた際に入園希望の方がいなかった場合は、廃園になる可能性があるということになります。今年募集して来年入園ということがありましても、新しい認定こども園が開園しましたら、場所とかを考えたらずと近い所になりますので、そこで人数の少ない園のあり方を検討してそちらの新しいこども園の方に行っていただくというようなことも検討することがあるということで、述べさせていただいております。

(苦田委員)

前の時の2名の方を見られてる時の先生の人数ですよ。2名でも何名か先生が必ず必要だと思うんです。園児数名の時でもまた再開するという可能性もあるということですね。

(事務局 吉原課長)

今年度、来年の募集をしますので希望の方が来られたら、開園の可能性はあります。仮に数名でもということですね。人数制限がないようにしたらそうですね。希望される保護者の方との、お話しすることはあるかと思いますが、可能性はあります。難しいと思うんですけれども、人数で切るというわけではないです。

(苦田委員)

1人、2人のためにも考えるべきことだと思います。これからの真庭市のことを考えますと、選択肢がございますので、考えていただけたらと思います。

(小畑会長)

ありがとうございました。それでは、次の議題に移ってもよろしいでしょうか、続きまして、お願いいたします。

5 議 題

(2) 久世第二こども園（仮称）建設基本計画（案）について

～（事務局 吉原課長） 資料説明【資料5】～

(小畑会長)

ありがとうございました。盛りだくさんで、次世代型のというような印象を受けます。この件に関していかがでしょうか。ご質問ある方おられますでしょうか。

(庄司委員)

P16 のところに地域子ども・子育て支援事業スペースを設けるとあるんですけども、久世は今、星のこども園さんもつどいの広場事業されるということで、生き生きサロンと2つですよね。3つということになりますか。

(小畑会長)

ありがとうございます。いかがでしょうか。

(事務局 吉原課長)

そうですね。サロンと言わせていただいたんですが、いろんな使い方が考えられると思いますので、新設の園と同じところにあることによって、またできることがこれから将来的にも考えられてくるのではないかなということで、余裕を持ったスペースを持たせていただいているというような考えです。

(小畑会長)

ありがとうございます。自由度の高いスペースを設けておくということで、今は明確に決まっていらないということですよ。ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

(難波委員)

全体的にはこどもたちの受け入れの数は変わらないということですが、職員の数はどうなりますか。先ほどの説明だと他の園の人数を調整して新設園にとのことですが、職員の数、配置とかをどのように考えてますか。新たに確保するのですか。

(小畑会長)

ありがとうございます。いかがでしょうか。

(事務局 吉原課長)

保育士等の確保については大変苦労しているところではあります。今様々な支援策と、保育士の支援制度も作り、PR、リクルート活動などもしております。どうしても保育士の数は必要になってくると思います。それから、制度改革で、担任が受け持ちできる園児数等もこれから減ってくるというようなことで、保育士がさらに必要になるということも考えられますので、確保の方にはこれからも力を入れていきたいと思っております。

それと同時に、久世地域ではずっと園児の数があまり変わってないんですけど、他の地域ではかなり減ってきているところもありますので、今後統合等も考えていけば、職員の配置が変わってくるのではないかなというふうなこともあるかとは思っています。

(小畑会長)

ありがとうございました。保育士の確保に関しましては、先日も課長さんはじめ、県大の方にも来てくださりまして、非常に今、真庭市として本当に魅力ある保育士確保に向けた施策を一生懸命努力されていて、非常にそれは学生に関してはやっぱりウケが良かったです。大学としても一生懸命PRしているところなのでこれは県大だけじゃないですけども、なんとか応援していきたいというふうに大学としても思っているところなんです。

5 議 題

(3) こども計画の策定と意識・実態調査について

～(事務局 二宗係長、PMC 山口) 資料説明【資料6】～

(小畑会長)

ありがとうございました。かなり、ボリュームのある内容になっているんですけども、いかがでしょうか。質問・項目の内容や選択肢のあり方ですとか。ぜひ率直にご意見いただけたらと思います。

(大塚委員)

まずこども大綱を勘案するということですが、こども大綱における目標指標っていうのがありまして、この中にその生活に満足しているか、今の自分が好きだと思うこども若者の割合、自分には自分らしさというものがあると思うこども若者の割合などについて目標値が設定されてます。こども大綱を踏まえると言うなら、こういう項目が入っていても良いのではないかなというふうに思いました。

小学5年生のアンケートについて、自身について家族構成、兄弟で何番目ですかという基本的な質問があって、その後に学校生活についてということで、「家や学習塾な

どで一日の中で大体どの程度の時間勉強していますか。」という質問があります。この設問がどういうことを目的にしているのか、こども計画のどういう仮設に基づいた問いなのかなというものが、疑問というか。これはこどもの立場に立つと、ここから入るのかみたいな感じがして、宿題、家での勉強頑張れみたいな所から入るのがこどもの的には重いんじゃないかな。大人に例えると、仕事から帰って、「家に帰ってからどれぐらい仕事に関わる勉強を何時間されてますか。」と設問をされてるのと同じだと思うんですよ。こどもまんなかという理念からしてもどうかと思う。

あと、今日教育委員会がオブザーバーで来られてますけれども、教育総合会議や、真庭市総合教育大綱がありまして、こういうこともその勘案する必要があるんじゃないかと。その中でももっとこども像というのは、広く捉えられているような気がします。決してその勉強とか、その勉強がわからなくなったらどうか、その辺が真庭市教育委員会の方針からも、逸脱してる感じがする。こども大綱からも離れてるような設問が多いなというふうに感じました。いかがでしょうか。

(PMC 山口)

設問の並びに関しては、弊社も検討させていただいたんですが、ご指摘の点について真摯に受け止めさせていただきたいと思っております。まずはもう一度その設問の並び方の整理は、改めて検討させていただきたいと思っております。あと、各生徒さんの、自分自身にどう思うか、楽しいかなどにつきましては申し訳ありません。こちらの方は小学5年生の方が抜けておりました。中学2年生の方は設問内容は、直接的ではありませんがそういった設問は入れさせておきますので、小学5年生の方はそちらの設問を加えさせていただきたいというふうに思っております。また先ほどおっしゃられました、市の教育委員会様の大綱は確認が漏れておりましたので確認をさせていただきまして、整合性が取れるように設問内容、アンケート内容は図らせていただきたいと思います。以上でございます。

(小畑会長)

ありがとうございました。他にいかがでしょうか。

(苦田委員)

P24の保護者の就労状況について、保護者が父親や母親以外の場合、男性の場合は父親として、女性の場合は母親とのことが抜けております。細かいことを言うようですが、アンケートを見ると、いろんなところで答えが右上に上がったり、下に上がったりで、これだけかと思って裏見たら、まだあって一問は一問のその中に収めるべきだと思うんです。アンケートを確実に取るには見やすいことが一番だと思うんですよ。

(PMC 山口)

こちらで作成しておりますので申し訳ありません。

(苦田委員)

小学5年生のところとかは「お尋ねします」ぐらいの方が5年生ぐらいだったらわかりやすいんじゃないかな。大人の方に対しても「伺う」と「お伺いします」、どちらかに統一してもらえたらとかいろいろございました。あとこういうアンケートで親の年収を聞くのを初めて見せていただいた。こども誰でも通園制度について、ご利用には一定の利用者負担が見込まれます。と記載がありますが、一定の利用者負担ってというのはどのぐらいの金額かっていう。一定というその一定の曖昧さ、不確実さ。あと大人やこどものところにお金がないからみたいのところ、「塾行ってますか」みたいのところ、もしお金がなかった時には、行きたいかどうかとか、塾とか稽古と習い事の中身までも、掘下げていっていただけたらと思う。お金がないから行けない、ならばどうするかというところを考えていくべきだと思うんです。せっかくいい中身をお知らせいただいても、もっと付け加えることがあるんじゃないかなと私は思います。

(小畑会長)

ありがとうございました。その体裁に関して検討が必要ということなんですけれども、これ、事前に確認したらこれペーパーじゃないですよ。タブレットでやるんですよ。

(PMC 山口)

今、真庭市様とご相談させていただいてる計画としましては、紙でのアンケート回収ではなくて、web ホームにご入力いただくというところで想定をさせていただいています。ですので、ペーパーの場合、その一問がその表裏にわたってっていうような問題があるけれども、web の場合は一つの画面に出てくるようになります。

(小畑会長)

その点に関しては問題ないということですのでよろしかったでしょうか。

(PMC 山口)

仰るとおりでございます。

(小畑会長)

私から1点、計画の実施目的です。任意ですよ。その小学5年生に分かるようなとか、中学2年生とか、大人向けに分かるような、その最初の表書き、趣旨説明みたいなものも今後多分を作っていただかれるんだらうと思うんですけれども、そういうものも今後必要かなと。無理やり答えさせるものでもないということも、協力する方にはきっちりお伝えした方が良いのではないかなというふうに思った次第です。

(PMC 山口)

そうですね。すみません、ありがとうございます。

(小畑会長)

他にございますでしょうか。

(大塚委員)

例えば P50 の問 16 の「あなたは、塾や家庭教師、通信教材を利用することがありますか。」と 17 で「あなたが塾や家庭教師、通信教材を利用しない理由をお聞かせください。」とあるが、これはこの結果がこども計画にどう反映されるのかというイメージがしづらいです。その都会の小学校とかなら聞く意味があるのかなと思う。PMC さんがこう提案されてることなのか、子育て支援課からこういう項目を入れてくれと言われたのか。

(PMC 山口)

私共からご提案させていただいている内容でございます。

(大塚委員)

それはこども計画にはどういうふうに反映されるんですか。この設問は。

(PMC 山口)

利用していないというご回答については、最も想定させていただいておりますが、お金がかかる、いわゆる貧困であるっていうところと、あと家事や家族の世話をしているというようなところでのケアラーのようなところが、着目点になるかのいうふうに想定をしております。

(大塚委員)

わかりました。ありがとうございます。今後、6 月上旬までに内容を詰めてということなんですけれども、僕は子育て推進課と教育委員会にもこうガッツリこう入ってもらって。内容詰めた方が良いんじゃないかなというふうに思うんですけど、事務局いかがですか。

(事務局 広岡課長)

ありがとうございます。特に小学 5 年生、中学 2 年生対象のアンケートにつきましては、教育委員会とも今も協議を進めておりまして、設問数が多いのもありますし、こどもたちが前向きに考えられないような設問が多いのではないかとこのところ、少し見直しが必要かなと、これからも教育委員会とは協議をしようと思っているところです。

(小畑会長)

この後、個別にでも聞いていただけたらというふうに思っております。ありがとうございました。それでは申し訳ありません。議題は以上ですね。

では6番目の方と報告意見交換の方に移りたいと思います。「こどもはぐくみ応援プロジェクト2024」についてお願いいたします。

6 報告・意見交換

(1) 「こどもはぐくみ応援プロジェクト2024」について

～（事務局 二宗係長） 資料説明【資料7】～

(2) 令和6年度こども園・保育園・幼稚園利用状況について

～（事務局 吉原課長） 資料説明【資料8】～

(3) 放課後児童クラブの状況について

～（事務局 吉原課長） 資料説明【資料9】～

(4) こども家庭センターについて

～（事務局 神庭センター長） 資料説明【資料10】～

(5) 母子手帳アプリ導入事業について

～（事務局 神庭センター長） 資料説明【資料11】～

（小畑会長）

報告意見交換というところで1番から5番に関しまして、特にというご意見がありましたら頂戴したいんですけども。よろしいでしょうか。じゃあ私の方から一点だけ、母子手帳アプリですがすごくいいと思うんです。ただ、名前ですよ。今、母子というこの名前が多分また検討されていると思うんですけども、それもまたよろしくをお願いします。

（神庭センター長）

ありがとうございます。実際まだ今、紙の手帳で運用されているものは、母子手帳と国の方から名前は変わっていないので、母子手帳というものではあるんですけども、真庭市につきましては、親子健康手帳という形で、呼び名を呼ぶようにしておりますし、今後のアプリの導入に関しても、そういったところは意識をして、やりたい

と思っています。

(小畑会長)

ありがとうございます。最後のその他に関しまして。ご連絡事項がある方いらっしゃいますか。

7 その他

(清水委員)

学童の方からのお知らせです。今年 10 年ぶりに岡山県で全国学童保育研究集会が開かれます。全国の学童の関係者の方、支援員の方とか、保護者の方が集まって、いろんな研修をしたりとか、実践発表などをする会が今年 11 月 16 日(土)、倉敷市民会館と次の日の 17 日(日)に川崎医療福祉大学でする予定となっています。発達支援などについて深掘して保護者が聞けるような話題を作ってみようとか、作業療法士の方のお話を聞いてみようとか、そういう企画をしていると実行委員会から聞いております。今後チラシを見かけたら、このことだと思っていただき周知いただけますと非常に助かります。よろしくお願いします。

(小畑会長)

ありがとうございました。ぜひ時間がある方、ご参加いただけたらと思います。

8 閉 会

(事務局 広岡課長)

本日いただきましたご意見を整理いたしまして、早期に対応する事項につきまして、子育て支援課の方で進めていきたいと思っております。本日は株式会社バブリック・マネジメント・コンサルティングの山口様ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。それでは、本日、副会長の杉本委員が欠席ですので、閉会の挨拶を会長、お願いいたします。

(小畑会長)

遅くまでお疲れ様でございました。実はこの間聞いた講演のタイトルが「ピンチをチャンス」という話だったんです。個人的なピンチというか、どう乗り越えてきたかっていうお話をしてくださって、まさに今こう日本全体もそうですけど、真庭市も子育てという意味では、非常にピンチだと思うんですよね。それに向けて今の市の方が本当に一生懸命、いろんな知恵を出して努力されてるっていうのを、大学の一人としてすごく痛感するんですけれども。ただ、市の方のピンチじゃなくて、市民の方、みんなのピンチでもありますので、それをどうチャンスに生かしていけるのか。その

案を出すのがこの会じゃないかなと思っております。ぜひこの真庭のピンチをチャンスに変えていけるように、市の方、市民の方、そして、大学関係者も含めて、一緒にいい方向に向いていけたらなと思っております。引き続きよろしく願いできたらありがたいなというふうに思っております。本当に今日は遅くまでお疲れ様でございました。ありがとうございました。